

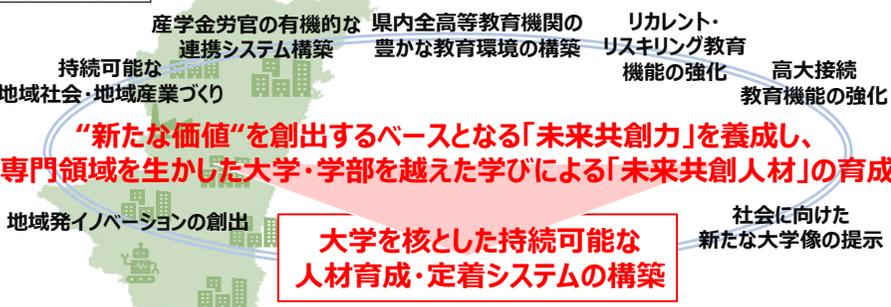
概要

産学金労官の連携体である地域連携プラットフォームとしての「宮崎県産業人財育成プラットフォーム」の更なる機能強化を図るとともに、地域の“学が結集”した大学等連携推進法人を組織することで、大学・学部が横断的に交わり、これまで以上に地域と密接に連携した「未来共創教育プログラム」を構築し、「生産性の高い第1次産業」、「フードビジネス」、「DX・AI」、「グローバルビジネス」、「地域医療」、「地域獣医療」、「地域教育」等、多様な分野において持続可能な地域づくりを支える多様な「未来共創人材」を育成する。

【本事業の先進性】

- ① 4 高等教育機関とも、基礎教育の抜本的な見直しを伴う全学的な学位プログラム改革であり、地域の高等教育機関のモデルとなる。
- ② 高等教育コンソーシアム宮崎内の他大学等にも水平展開する可能性が高い。
- ③ 「産業人財育成PF」と2つの地域連携プラットフォーム（「企業成長促進PF」「イノベーション共創PF」）との連携により、イノベーションの創出等、二次的な波及効果を生み出す。
- ④ 宮崎大学の新キャンパス（錦本町）を有効に活用することにより、地域・企業等との連携、大学間・高大連携が大きく進展する。
- ⑤ 大学を核とした持続可能な人材育成・定着システムの構築に繋がる。

目的・効果



【地域連携プラットフォーム】宮崎県産業人財育成プラットフォーム 宮崎県の産学金労官 13 機関で組織する「Do & Think Tank」体制（2016年設立／運営事務局：宮崎大学）



- ① 時代の変化に目を向け、柔軟に戦略立案・意思決定できる人材
- ② 事業拡大やイノベーションに挑戦し企業や地域等を支える人材
- ③ 自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマインドを持った人材
- ④ 横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり巻き込むことのできる人材

「未来共創力」を構成する、3つの身に付けるべき資質・能力

※①～③はR2年2月のPF会議で決定、④及び資質・能力は本事業を踏まえ、R4年5月のPF会議で追加決定

- 科学的思考力
- 俯瞰力・構想力
- 繋ぐ力・構想実現力



地域で求められる多様な人材の育成に向けた教育の展開【SPARC学生 210名育成】

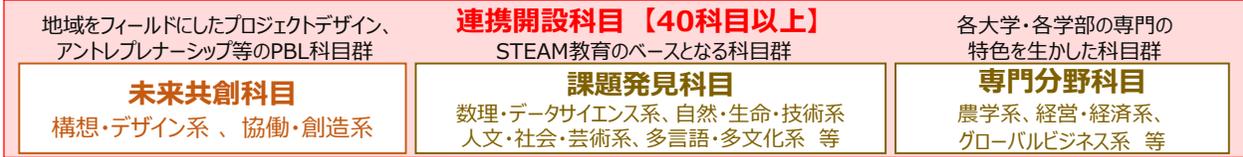
大学等連携推進法人（R6年度前半設立予定）事業実施に当たりSPARC事業運営委員会を組織

全大学が基礎教育を抜本的に改革。基礎教育で身に付く能力（特に「未来共創力」）が専門教育に有機的に繋がり、各々の専門性をさらに広げ、深めるための文理・分野融合教育、協働実践教育を取り入れた個性的な「9つの学位プログラム」を構築。さらに「教学マネジメントシステム」を強化し、各学長のリーダーシップの下、本事業を大学全体の教育改革に位置付けて推進する。



宮崎大学	南九州大学	宮崎国際大学	宮崎学園短期大学
SPARCプログラム推進プロジェクトチーム	SPARCプログラム推進委員会	SPARC連携教育プログラム組織委員会	SPARC連携教育推進委員会
地域資源創成学部、農学部、工学部、教育学部、医学部	健康栄養学部 環境園芸学部	国際教養学部	現代ビジネス科
①「未来共創力」を養成するため、STEAM教育を柱とした基礎教育の全学的改革 ②各専門分野の特色を生かした学士課程プログラムを構築	①教養教育を、基礎教育（総合領域）、南九リベリアル（複合領域）、地域共生に再編 ②農業生産分野・食品加工分野において、宮崎大学と連携	①「地域学」を強化することで、より地域に根差したグローバル人材を育成 ②連携開設科目も活用し、「ESTEAM教育」を充実	①一般教育に数理・DS等の理系・グローバル教科を拡充 ②専門教育で地域研究・アントレプレナーシップ科目等を充実 ③四年制大学への接続を強化

他の大学等へ成果等を共有 県内11高等教育機関による「高等教育コンソーシアム宮崎」全体に成果を共有し、さらなる連携の強化・連携内容の充実を図る。



【将来に向けた展開】錦本町・新キャンパス「みやざきイノベーションハブ」

令和7年4月に宮崎市の中心地にオープン。「学び」「共創」「成長」「発信」をコンセプトに、「人材の育成」と「イノベーション創出」が循環するエコシステムの構築を目指す。



SDGsに代表されるように社会・環境・経済の持続可能性が問われるとともに、変化のスピードが速く不透明な要素の多いVUCAの時代に、しっかりとした科学的な思考と分野横断的な総合知をベースに、社会の将来像を描き、様々なステークホルダーとの連携のもと、時代を切り拓き新しい価値を創造する人材を育成する。特に、宮崎の強みを生かした農林水産業・フードビジネスを支える人材、地域産業を強化するためのDX・グローバル人材等、地域・産業界からのニーズの高い人材を育成するとともに、将来の地域社会を支える多様な人材を育成する。

【宮崎地域の活性化を支える多様な未来共創人材プログラムの全体像】

持続可能なまちづくり・地域づくり・地域の資源を生かした産業づくり等、
真の地方創生を担うイノベーション人材

宮崎大学 南九州大学 宮崎国際大学 宮崎学園短期大学

グローバルな視点を持ちつつ
地域の産業の活性化を担う人材

宮崎大学 地域資源創成学部
宮崎国際大学 国際教養学部

「STEAM」、「分野横断的な総合知」、「専門的知識をつなげる総合力」
を新たな視点として加え、全大学が基礎教育を抜本的に再編するとともに、
専門教育とが有機的に連携したSPARCカリキュラムを構築

- ①課題発見系の科目では、STEAMや文理横断的な学び、システム思考の修得等により「社会を俯瞰し構造的に捉え課題を発見する力」を養成
- ②新しく開講する「未来共創科目」では、デザイン思考等により「将来像を描くための力」を磨く「構想・デザイン系科目」、地域をフィールドに様々なステークホルダーと連携して実現するためのPBLやアントレプレナーシップをベースとする「協働・創造系科目」を設置し、「地域と共に未来を描き実現する力（プロジェクトをデザインし、マネジメントする力 等）」を身に付ける
- ③上記をベースの力として、各大学の専門分野の特色を生かしながら、また、大学同士が強みを補完し合いながら多様な人材育成プログラムを実現

付加価値の高い持続可能な農林水産業、
フードビジネスを支える人材

宮崎大学 農学部
南九州大学 環境園芸学部 健康栄養学部

これからの地域の活性化を担う
ICT・DX・AI産業等を牽引する人材

宮崎大学 工学部

高付加価値なものづくり産業を
担う人材

宮崎大学 工学部

建設業等の
強靱な基盤整備を支える人材

宮崎大学 工学部

地域医療・包括ケアシステムを
担う人材

宮崎大学 医学部

地域の教育を支える教育人材

宮崎大学 教育学部

地域の獣医療を支える人材

宮崎大学 農学部

宮崎大学

（地域資源創成学部、農学部、工学部、教育学部、医学部看護学科）

全学部において専門分野を学ぶ前提となる基礎教育、専門分野を学ぶ中でさらに総合知を深め・広げるための基礎教育を行う「学びの往還」を実現すること、さらに専門教育においても「分野横断・未来共創力・地域との繋がり」をベースとした教育を行うことにより、多様な「未来共創人材」を育成する。

- ①基礎教育に、新たな科目群として「未来共創科目」を設置。構想・デザイン系科目及び協働・創造系科目により、未来を描く構想力や、宮崎というローカルの地を生かした繋ぐ力・構想実現力を身に付ける。
- ②専門教育の分野においても地域等と密接に連携した内容のプログラムを実施するとともに、高年次でも専門分野外の科目が受講できる「学びの往還」体系を構築し、より高度な「未来共創力」を身に付けた「SPARC学生」を養成。

南九州大学

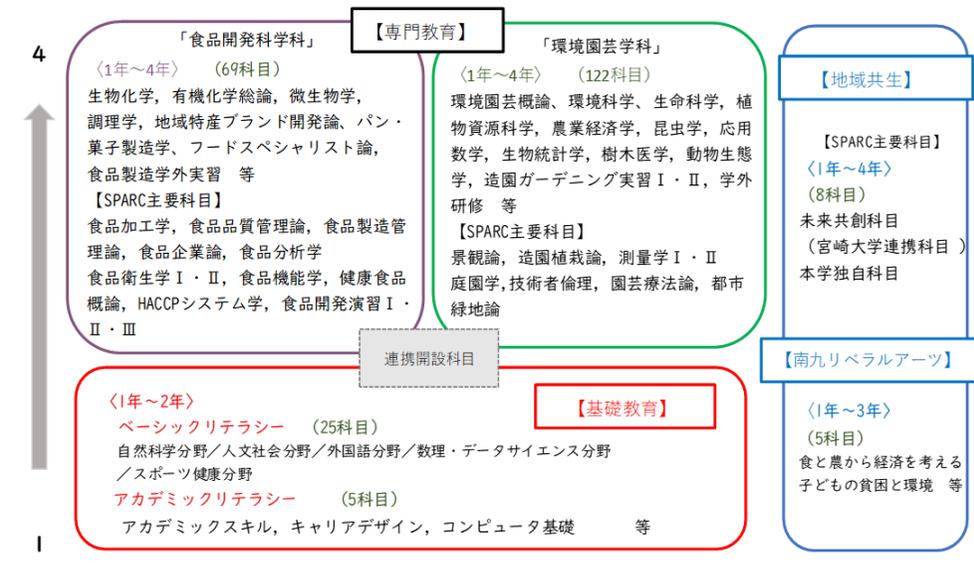
（健康栄養学部・食品開発科学科、環境園芸学部・環境園芸学科）

1. 教養教育

本学の教育研究理念及び教育目標に基づき、「持続可能な社会づくりの担い手を育む」教育プログラムを構築することにより、地域の求める人材を育成、輩出する。プログラムのベースとなる教養教育について、「STEAM、分野横断的な総合知識、専門知識を繋げる総合力」を学習・修得できるように再構築を行う。

2. 専門教育

「地域社会の求める人材の輩出」、「文理横断型の教育」を推進するために、他大学と連携して専門教育における連携開設科目を設置し、それらの科目を活用して学部プログラムを再編する。学部プログラムの再編および他大学との連携開設科目の受講により、新たな価値観の発見・探求、異分野科目受講による知の深化・拡大を目指す。



宮崎国際大学

(国際教養学部 比較文化学科)

- ① 地域に関連した「地域学」科目群を連携開設科目として宮崎大学等他大学から受講し(基礎教育及び専門教育)、受講生をSPARC学生として輩出する。
- ② STEAM教育を重視し、本学の国際性を加えたESTEAM (English-Science-Technology-Engineering-Arts-Mathematics) 型教育を整備する。
- ③ これまで、県内の産業界や経済界等からの講師を招聘する授業(キャリア教育)が行われてきたが、これをSPARC型の教育に組み込み、他大学と連携して**新たな地域キャリア教育**を整備する。



宮崎学園短期大学

(現代ビジネス科)

- ① 宮崎大学等との連携により数理・DSや、AI、統計等の理系の教養科目の拡充、多言語・多文化に関する科目の履修等によりグローバル社会にも対応できる教養を身に付ける。
- ② **地域研究を深める科目「新宮崎創生論 I・II」を新設し**、PBLとして実施する。
- ③ 県内企業団体と連携を深め、企業団体と大学とが互いに協議し、同じ人材育成像を共有したうえで教育する**共育型インターンシップを実施する**。
- ④ 宮崎大学の「地域デザイン概論 I」や「アントレプレナーシップ I」などにより、プロジェクトデザイン・マネジメント力、そして柔軟な発想によるイノベーションに挑戦するための基礎となる力を養成する。
- ⑤ 地元企業への就職だけでなく、大学等連携推進法人内の大学への編入も支援し、短期大学での2年間の学びを継続させ、より高いレベルでのSPARC人材養成へとつなげる。

